



大正七年九月

長崎縣立
農學校附設
農業補習學校
第六年報

合冊

始



291-53

訓 校

一、生徒たるものは須臾も

皇室の御恩を忘れず國に報ゆるの覺悟なかるべからず

一、生徒たるものは父母教師を尊ひ貴ひ良く其命に服従すべし

一、生徒たるものは誠實にして勤勉ならさるべからず

一、生徒たるものは質素を守り節約を旨とせざるべからず

一、生徒たるものは信義を重じ禮讓を貴ばざるべからず

一、生徒たるものは公德を守り公益を計るの心得なかるべからず

大正
7 11 7
寄贈

校寄贈本

長崎縣立農學校附設農業補習學校第六年報

目次

項目	頁
沿革	一
一、實業補習學校規定	三
二、長崎縣立農學校附設農業補習學校學則	五
三、教授始終業時刻	九
四、教授時間割表	一〇
五、學級編成	一〇
六、教科用書	一一
七、校外取締法	一一
八、第六回栽培用種子分與	一三
九、生徒學歷表	一六
一〇、生徒町村別	一七
一一、生徒年齡別	一七
一二、各月生徒出席歩合並ニ異動	一九
一三、累年生徒出席歩合	二〇
一四、生徒通學里程	二一
一五、精勤者獎勵狀況	二一
一六、生徒出席獎勵	二三
一七、卒業生徒町村別	二四
一八、卒業生徒年齡別	二四
一九、受持學科及職員	二五
二〇、第六回農產物品評會	二六
二一、卒業生氏名	二九
二二、卒業後ノ狀況	三九
二三、教授細目	四一
二四、附錄	四一
長崎縣農業教員協議會記錄	以上

沿革

本校ハ明治四十五年四月長崎縣立農學校ニ附設セラレ同月ヨリ授業ヲ開始セリ當時ノ職員ハ校長一名主事一名訓導三名都合五名生徒ハ八十三名ノ入學者アリテ一町五ヶ村ヨリ通學シ其出席歩合モ良好ニ赴キツミアリシモ大正二年ニ至リ生徒ノ出席思ハシカラズ殊ニ校長並ニ主事ノ缺員ト共ニ一時悲境ノ狀態ニアリシモ大正三年四月現校長及ビ主事ノ新任ト共ニ各職員協同一致シ以テ内外ノ改善ヲ計リシ結果今日ニ於テハ生徒ノ就學スルモノ漸次増加シタルト共ニ出席歩合ニ於テモ良好ノ域ニ達シツミアリ大正七年三月第五回卒業式ヲ舉ゲ既ニ百四十名ノ卒業生ヲ出シ現在生徒數七十三名ニシテ定員ヲ超過スルノ盛況ヲ呈セリ

創立當時ヨリ現在ニ至ル職員左ノ如シ

任命年月	轉任年月	職名	受持學科	氏名
明治四十五年四月	死 亡	校長		後藤鐵藏
右 全	大正二年十月	訓導主事	算修 術身	上月直太郎
右 全	現在職員	訓導	算 術	大串貞市

右	全	右	全	右	全	國	語	小	野	健	市
右	全	大正四年一月	右	全	農	業		松	山	茂	樹
大正二年十一月	現在職員	校	長					中	村	由	太郎
大正三年二月	右	全		農	修	業	身	澤	田	榮	德
大正四年一月	大正四年二月	訓	導	農	業			陣	内	牛	一
大正四年二月	大正六年十二月	右	全	理	科			堀	川	安	市
大正五年十一月	大正五年十一月	右	全	修	身			佐	瀬	誼	雄
大正六年十一月	大正七年三月	右	全	修	身			清	水	時	雄
大正七年三月	現在職員	右	全					橋	本	與	次左工門
		右	全					内	藤	喬	

實業補習學校規定

(明治三十五年一月十五日
文部省令第一號)

明治二十六年文部省令第十六號實業補習學校規程ヲ改正セルコト左ノ如シ

一、實業補習學校規定

第一條 實業補習學校ニ於ケル教科目修業期間及教授時數ハ土地ノ狀況ニヨリ適宜之ヲ定ムベシ

第二條 實業補習學校ニ於テハ土地ノ情況及ビ職業ノ種類繁閑等ニ依リ生徒ノ修業ニ最モ便宜ナル時間及ビ季節ヲ選ビ教授スベシ

第三條 實業補習學校ノ教科目ハ修身、國語、算術及實業ニ關スル科目トス但シ修身ハ國語ニ附帶シテ教授スルコトヲ得

前項ノ教科目中、國語、算術ハ之ヲ闕キ又ハ土地ノ情況ニヨリ他ノ教科目ヲ加フルコトヲ得

修身、國語、算術及前項ニ依リ加フル教科目ハ之ヲ隨意科トナスコトヲ得

國語ハ讀書、作文、習字ニ算術ハ筆算、珠算ニ分チ生徒各自ノ志望ニ依リ其ノ事項若クハ數事項ヲ教授スルコトヲ得

第四條 實業ニ關スル科目ニ就キテモ便宜數事項ニ分チ生徒各自ノ志望ニ依リ其ノ事項若クハ數事項ヲ教授スルコトヲ得

一、工業ニ關シテハ物理化學圖畫ノ模型、幾何圖、圖案方學材料、工具製作ノ類



- 二、農業ニ關シテハ物理、化學、博物、土壤、肥料、作物、耕耘、農具、病虫害、園藝、養蠶、家畜、造林丈量ノ類
- 三、水産ニ關シテハ物理、化學、博物、地文、漁撈製造、養殖漁船運用ノ類
- 四、商業ニ關シテハ商業算術、商業書信、商事要項、商品、商業地理、簿記商業ニ關スル法令外國語ノ類
前項ノ外或ル職業ノ爲メ便宜其科目ヲ定ムルコトヲ得
- 第五條 實業補習學校ニ入學スル者ノ資格ハ年齡十年以上學力尋常小學校卒業以上ニ於テ之ヲ定ムベシ
但シ尋常小學校ヲ卒業セザルモ學齡ヲ過ギタル者ニ限リ特ニ入學セシムルコトヲ得
- 第六條 實業補習學校ハ小學校、實業學校又ハ其他ノ學校ニ附設スルコトヲ得
- 第七條 實業補習學校ハ學則中ニ規定スベキ事項凡テ左ノ如シ
 - 一、學校ノ目的
 - 二、修業期間ニ關スル事項
 - 三、教授ノ季節ニ關スル事項
 - 四、休業ニ關スル事項
 - 五、教科目及其程度ニ關スル事項
 - 六、教科目ノ教授時間及時數ニ關スル事項
 - 七、入學、退學ニ關スル事項

八、授業料ニ關スル事項

- 第八條 實業補習學校ニ於テハ教科目教授時數及學級數ニ應ジ相當ノ教員ヲ置クベシ
- 第九條 實業補習學校ノ教科目修業期間教授時數及季節ハ道廳府縣立ニアラザル公立學校ニアリテハ管理
者私立學校ニアリテハ設立者ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受ケ之レヲ定ムベシ
但シ國庫ノ補助ヲ受クル學校ニ關シテハ此限リニアラズ
- 第十條 實業補習學校ノ名稱ハ補習學校ノ文字ヲ附スベシ

附 則

- 第十一條 本會ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス
- 第十二條 明治二十七年文部省令第二十六號中「實業補習學校」ヲ削ル

一、長崎縣立農學校附設農業補習學校學則

- 第一條 本校ハ農業ニ從事シ又ハ從事セントスル者ニ對シ農業ニ要スル智識技能ヲ授クルト同時ニ普通教育ノ補習ヲナスヲ以テ目的トス
- 第二條 本校ハ長崎縣立農學校ニ附設シ長崎縣立農學校附設農業補習學校ト稱ス
- 第三條 本校ノ教科ヲ分テ甲乙二部トシ生徒定員六十名トス
- 第四條 甲部ニ入學シ得ベキモノハ修業年限二ケ年ノ高等小學校卒業若クハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル
者ニシテ年齡十四歲以上ノモノ及本校乙部修了者トシ乙部ニ入學シ得ベキモノハ尋常小學校卒業以上ニ

シテ年齢十二歳以上ノモノトス

第五條 修業期限ハ甲部乙部共ニ二期トシ一期ヲ六ヶ月トス

第六條 教授期節ハ四月、十一月、十二月、翌年一月、二月、三月トシ夜間教授スルモノトス但シ教授季

節外ト雖モ必要ニ應ジ實習ヲ課スルコトアルベシ

第七條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ必要ノ場合ニハ臨時休業ヲナスコトアルベシ

日曜日、祝祭日、冬季休業、自十二月廿六日至翌年一月七日

第八條 教科目及毎週教授時數左ノ如シ

甲 部

教科目	學期	第 一 期	第 二 期	時教 數授
修身	道德ノ要旨	一	同上	一
國語	讀方、綴方、書方	三	同上	三
算術	筆算、四則雜題、分數、小數、比例、歩合算、珠算、加減乗除	二	同上 及農業簿記	二
農業	作物、園藝、土壤、肥料、養畜、養雞、養蠶、農具、病虫害、經濟、林業大意	五	同上	五

乙 部

教科目	學期	第 一 期	第 二 期	時教 數授
農業理科	農業ニ關スル博物理科學	一	同上	一
計		一二		一二
修身	道德ノ要旨	一	同上	一
國語	讀方、綴方、書方	五	同上	五
算術	筆算、加減乗除應用、珠算加減乗除	二	筆算、分數、小數、比例、歩合算、珠算、加減乗除	二
農業	農用理科、農業大意	四	同上	四
計		一二		一二

第九條 入學志願者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ親權者連署ノ上學校長ニ願出ツベシ

第十條 入學ハ通常四月一日トス但シ特別ノ事情アルモノハ臨時ニ入學ヲ許可スルコトアルベシ

第十一條 疾病其他止ムヲ得ザル事故ニ依リ退學セントスルモノハ親權者連署ノ上校長ニ願出ヅベシ
 第十二條 性行不良ニテ修學ノ見込ナキモノハ退學ヲ命ズ
 第十三條 教授料ハ之ヲ徵收セズ
 第十四條 所定ノ課程ヲ修了シタルモノ又ハ卒業シタルモノニハ修了證書又ハ卒業證書ヲ授與ス
 入學願書書式

入學願書

長崎縣北高來郡何町何村何番地
 族籍戶主續柄

氏 名

年月日生

學業略歷

- 一、何年何月尋常小學校卒業
 - 一、何年何月高等小學校卒業若クハ全何學年修業
- 私儀御校附設農業補習學校何部ニ入學致度候間御許可相成度此段御願候也

年月日

右 本人 氏 名

親權者 氏 名 印

長崎縣立農學校長誰殿

修業證書及卒業證書書式

修業證書

長崎縣族籍

氏 名

年月日生

本校附設農業補習學校甲(乙)部第一(二)期ヲ修業セシコトヲ證ス

大正 年 月 日 長崎縣立農學校長 氏 名 印

卒業證書

長崎縣族籍

氏 名

年月日生

本校附設農業補習學校甲(乙)部ヲ卒業セシコトヲ證ス

大正 年 月 日 長崎縣立農學校長 氏 名 印

第 號

三、教授始終業時刻

授業ハ毎年四月ニ始メ翌年三月ニ終ル而シテ十一月一日ヨリ翌年一月二十日迄ハ午後七時ヨリ九時迄ニ

時間ニシテ一月二十一日ヨリ三月二十五日迄ハ午後七時半ヨリ同九時半迄二時間トス

四、教授時間割表

	月	火	水	木	金	土
甲	第一時 農業	農業	農業	算術	讀方	農業
乙	第二時 算術	理科	讀方	農業	修書方身	綴方
甲	第一時 算術	修書方身	綴方	農業	讀書	農業
乙	第二時 讀方	農業	讀方	算術	書方	理科

五、學級編成

全生徒六名ニシテ之ヲ甲乙三部トシテ二學級ニ編成シ算術科ヲ除ク外單式ニ教授セリ而シテ人員ハ左ノ如シ

甲部	第二期生	二三人
乙部	第一期生	三〇人

六、教科用書

乙部	第二期生	一七人
乙部	第一期生	一六人
國語科	甲部	實業學校國語讀本卷三、四 元元堂書房編輯所編纂
	乙部	右同 卷一、二 同
	甲部	新編普通日用文範 全 (書方)
	乙部	高等小學書方手本 第一學年用 (書方)
農業科	甲部	作物ノミハ最近作物各論教科書 (岡村合著)
	乙部	農業新教科書卷一、二 (農業教授研究會編)

七、校外取締法

他ノ學科ニ於テハ何レモ適當ナル參考用ニヨリ其要項ヲ筆記セシムルノ外謄寫シテ分與ス

一、自治的ニ七地方組合ヲ設ケ之ガ取締トシテ組長及副組長ヲ置キ組長ハ每週一回月曜日ニ（事故アルトキハ其都度）生徒狀況ヲ擔任教師ニ對シ組合帳簿ヲ以テ報告セシム

(イ) 地方組合表

組合名	生徒數	組長名		擔任教師
		副組長名	組長名	
諫早町	一三	山口賀佐又太郎喜	古賀太喜郎	小野訓導
小野村	六	八戸ノ勇間一喜郎	山野喜郎	澤田訓導
諫早村	二七	山口野常春喜男	山野喜郎	大串訓導
北諫早村	二二	福前山川求儀馬一	内藤訓導	内藤訓導
小栗村	九	橋本賀喜直太郎磨	澤田訓導	澤田訓導
長田村	一〇	松竹清豐九郎吉	松竹清豐九郎吉	澤田訓導

(ロ) 組合生徒心得

- 一、誠實ヲ旨トシ禮儀ヲ重ズルコト
 - 二、秩序ヲ守リ親愛ヲ念トシ勤勉ノ美風ヲ作ルコト
 - 三、公德私徳ヲ重シ公利公益ヲ圖ルコト
 - 四、教授期間中ハ猥リニ缺席セザル様相互ニ注意スルコト
 - 五、不止得缺席セントスルトキハ其旨届書ヲ差出スベキコト
- 以上

二、家庭ノ連絡ヲ圖ル爲メ地方擔任教師ハ時々家庭ヲ訪問シ學校ノ教育主義ヲ知ラシメ兼テ出席獎勵ヲナス

三、地方擔任教師ハ時々其擔任部落監督ノ爲メ其區域内ヲ巡視ス

八、第六回栽培用種子分與

本校ニアリテハ毎年家庭栽培ノ實習ヲ課シ以テ農業實習ニ關スル智識技能ヲ養成シ尙其趣味ヲ普及スルノ目的ヲ以テ栽培法ノ一般ヲ講話シ左記ノ種子ヲ各生徒ニ分與スルト共ニ栽培法摘要ヲ印刷ニ附シ之ヲ各生徒ニ配付セリ

- 配付種子
- 一、裸麥 一合
 - 一、宮重大根 一包
 - 一、練馬大根 一包
 - 一、聖護院大根 一包

一、聖護院大根 一包
 以上 六種
 各家庭へ配付セシ栽培法摘要左ノ如シ
 麥栽培法摘要

種類	播種期	播種量	畦	畦間	第一回	追肥	第二回	土寄	收穫
小麥	十一月中旬	四條播	如、二尺二寸、五寸田、四尺、五尺ノ高畦	一尺二寸	一月下旬	二月下旬	二月下旬、三月上旬	三月下旬	五月中旬
裸麥	十一月下旬	右同	右同	一尺二寸	二月下旬	二月下旬	三月下旬	三月下旬	五月中旬
大麥	右同	五同	右同	一尺二寸	二月下旬	二月下旬	三月下旬	三月下旬	五月中旬

備考、田地ニテハ第二回中耕ト同時ニ溝上ゲヲ兼ネ行フ
 塩水選 〔小麥及裸麥(比重一、二)苦塩汁ニ約一割ノ水ヲ加フ大麥(比重一、二)苦塩汁ト水ト等分位ノ割合〕
 塩水選ヲ行フテヨリ尙篩ニテ小粒ヲ除キ大粒ノミヲ取リテ播種スベシ
 一、播種法、地拵ヲ終レバ一尺二寸ノ畦ヲ設ケ(田地ハ四尺一五尺ノ高畦)播筋ヲ切り下肥ヲ施シ其上ニ麥ヲマキ堆肥ニ油粕及過磷酸石灰等ヲ調和シタルモノヲ其上ヨリ施シテ淺ク土ヲ覆フ

施肥ノ参考用量(一反歩ニ付)

堆肥 六十貫(元肥)
 油粕 六貫(元肥)
 過磷酸石灰 三貫(右同)
 下肥 百八十貫(半量ヲ追肥ニ施ス)

小麥ノ肥料ハ下肥ノ量ヲ稍減ジテモ可ナリ下肥ハ水ヲ倍シテ施スヲ宜シトス
 蔬菜栽培法摘要

品	種	播種期	播種量	畦	畦間	第一回	第二回	第三回	第四回	採收期
練馬大根	同	九月上中旬	點播五合、條播一升	二尺	一尺二寸	五、七、日ノ時	七、日ノ時	七、日ノ時	一	十二月
聖護院大根	同	同	同	二尺	一尺二寸	同	同	同	一	十一月
宮重大根	同	同	同	二尺	一尺二寸	同	同	同	一	同
聖護院蕪菁	同	同	條播四合	一尺八寸	同	同	同	同	第三回後、二日ノ時	十二月
長崎白菜	同	九月中旬	同	一尺五寸	一八寸	同	同	同	同	十一月

施肥ノ参考用量(一反歩ニ付)

町村別	一〇、生徒町村別		合計
	在學部	生徒部	
合 計	五 三	三 三	八 六
小野村	五	一	六
長田村	四	六	〇
小栗村	九	〇	九
北諫早村	一〇	二	一二
諫早村	一四	二	一六
諫早町	一	二	三
甲部	一	二	三
乙部	一	二	三
合計	五三	三三	八六

入學前ノ學歷別	九、生徒學歷表	
	在學生徒數	半途退學生徒數
尋常小學校卒業者	三三	八
本校補習校乙部卒業者	五	一
高等小學校卒業者	四	一

一、大根、蕪菁ノ木灰ハ發芽後根際ニ施用シ下肥ハ何レモ元肥ニ少量ヲ施シ大部分ハ追肥トシテ三回…
 四回ニ分施スルモノトス
 一、追肥ノ都度中耕ヲナシ時々除草ヲナスベシ
 以 上

大根、蕪菁	堆肥	二百貫(元肥)
過磷酸石灰	肥	四十貫(同)
木灰	肥	四十貫(同)
油粕	肥	三百貫(元肥及追肥)
白 菜	堆肥	二百貫(元肥)
過磷酸石灰	肥	十二貫(元肥)
油粕	肥	十二貫(元肥)
木灰	肥	三百貫(元肥)
追肥	肥	三百貫(元肥及追肥)

年次	一三、累年生徒出席歩合			平均
	甲部	乙部	合計	
大正元年	1	1	1	79.82
全二年	4	1	5	79.42
全三年	8	3	11	75.33
全四年	5	1	6	72.18
全五年	1	1	2	68.02
平均	1	1	2	77.53

一四、生徒通學里程

授業ハ夜間ナルト交通不便ナルトニ依リ困難ナレドモ遠キハ一里ノ所ヨリ通學セルアリ而シテ一里以上ノ通學生ハ凡テ八、九名其他ノ生徒ハ通學距離平均六、七丁ナリ

一五、精勤者獎勵情况

一、一ヶ月間無缺席者ニ對シテハ左記精勤證及賞品ヲ授與セリ

精 勤 證

校印

部第 期生 姓名

本月中精勤セシコトヲ證ス

大正 年 月 日

長崎縣立農學校附設
農學補習學校

全六年	八五、五一	六八、二〇	五九、四六	七〇、五六	七〇、七一	七四、五七	七二、〇三
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

賞品ハ主ニ學用品トス即チ左ノ如シ

- 白紙、 雜記帳、 毛筆、 鉛筆、 卷紙、 封筒、 筆入等ノ類
- 二、毎月精勤證受領數左ノ如シ

甲部	四月	十一月	十二月	一月	二月	三月	合計
二〇人	一三人	一人	一人	一人	一人	一人	九人
乙部	一六	一〇	七	六	二	三	四四
合計	三六	二三	一八	二四	一九	二二	一四二
歩合	四一、八六	二八、四八	二五、四九	三六、三六	二八、三六	三四、三八	三二、四九

前年度ニ比較セバ稍々減少セルモ前表ノ如ク百人中三三ノ精勤者ヲ出セリ
 三、本校生徒ハ晝間ハ多ク農業ニ従事シ身心疲勞シタリト雖モ尙且ツ風雨ヲ冒シテ精勤一日モ怠ラザルニ對シテハ特ニ之ヲ推獎シ以テ一般生徒ノ出席獎勵ヲ圖リ左記ノ褒狀ヲ授與セリ

褒 狀

校印 姓名

右者本校附設農業補習學校一學期中勤勉ナリシヲ以テ茲ニ之ヲ賞ス

大正 年 月 日

長崎縣立農學校附設
農業補習學校

褒狀ヲ受領セルモノ甲部ニ於テ九名乙部ニ於テ二名合計十一名ナリ

一六、生徒出席獎勵

從來本校ガ生徒ノ出席ヲ督勵スル上ニ於テ採用シ來レル方法ヲ略記スレバ左ノ如シ

- (一) 實用的ノ教授ニ重キヲ置キシコト
- (二) 職員ノ協同一致殊ニ親切ト熱心トハ生徒ノ出席ニ大ナル關係ヲ及ボセシコト
- (三) 精勤生徒ヲ表彰セシコト
- (四) 學用品ヲ貸與セシコト
- (五) 生徒組合ヲ區分シ通學ニ便ヲ與ヘシコト
- (六) 有用書籍(雜誌)ヲ購入シ之ヲ貸與セシコト
- (七) 家庭訪問ヲ怠ラザリシコト
- (八) 督勵ヲ怠ラザリシコト
- (九) 商店、雇主ト連絡ヲトリ生徒ヲ出席セシメシコト
- (十) 種子ヲ配付シ一坪農業ヲ實施セシコト
- (十一) 談話會、品評會等ヲ開設セシコト
- (十二) 相撲、詩吟、綱引、遠足等ヲ行ヒシコト
- (十三) 父兄其他ヘ學校ヲ參觀セシメシコト
- (十四) 青年會及農會ト連絡セシコト

受持學科	職	員	氏	名	就	職	年	月	合	二十一年	二十年	十九年	十八年	十七年	十六年	十五年	計
									計								
一九、受持學科及職員									五	1	1	1	4	1	1	1	諫早町
									八	1	1	1	1	2	4	1	諫早村
									一三	1	1	1	4	4	3	1	北諫早村
									1	1	1	1	1	1	1	1	小栗村
									五	1	1	1	2	1	2	1	長田村
									三	1	2	2	1	7	9	1	合
									一	1	2	2	1	7	9	1	計

合	長	小	北	諫	諫	町	一七、卒業生徒町村別					
							計	卒業者員數	甲部生徒數	乙部生徒數		
計	村	村	村	村	町	別	三	五	一	一	一	一
三	五	〇	一	八	五		一	〇	三	四	五	〇
一	三	〇	三	四	五		一	〇	三	四	五	〇
一	二	〇	一	四	一		一	〇	三	四	五	〇

一八、卒業生徒年齢別

(十五) 小學校及町村役場トノ連絡ヲ圖リシコト
(十六) 地方有志トノ連絡ヲ圖リシコト

以上

五等	五等	五等	五等	五等	五等	五等	五等	五等	五等	五等
宮重	聖護院	宮重	全	長崎	宮重	聖護院	長崎	聖護院	聖護院	宮重
大根	蕪菁	大根		白菜	大根	蕪菁	白菜	蕪菁	大根	大根
川添寅次郎	全人	山口繁雄	後田今朝一	全人	山口一男	久保正雄	石丸長一	全人	全人	松竹清九郎

元

以上 三十名
 二、卒業生氏名
 甲部第一回卒業生徒氏名 (大正三年三月)

五等	五等	五等	五等	五等	住所	氏名	住所	氏名
聖護院	練馬	長崎	松竹愛之助	小野村	長田村	木下金三郎	小野村	木下金三郎
大根	大根	白菜	小野村	長田村	松武定三	松武定三	長田村	松武定三
古賀留雄	増輪幸雄	松尾彌作	小栗村	向井作松	田島多次郎	田島多次郎	小栗村	田島多次郎
			小栗村	石橋澤治	石丸政一	石丸政一	小栗村	石丸政一
			立川茂	立川茂	長田村	長田村	立川茂	長田村
			廣田元	廣田元	諫早村	吉田隆知	諫早村	吉田隆知

元

甲部第四回卒業生徒氏名 (大正六年三月)

住所	氏名	住所	氏名
諫早町	辻 權平	小栗村	野崎 重雄
諫早村	久保 甚藏	諫早村	川内 榮次
全	江崎 豊喜	小栗村	吉谷 藤松
全	菅原 三郎	北諫早村	葛屋 敬次郎
全	白濱 勇次郎	小栗村	橋本 勝馬
小栗村	前田 委雄	小栗村	橋本 吉平
諫早町	兼松 九郎	長田村	田口 長援

以上十四名

甲部第五回卒業生徒氏名 (大正七年三月)

住所	氏名	住所	氏名
諫早町	津村 又一	北諫早村	前川 儀一
全	古賀 直磨	全	福山 求馬
全	森永源 四郎	全	高橋 末一
全	山崎 力男	長田村	松竹 清九郎
全	古賀 又喜	全	松竹 豊吉
諫早村	松野 春雄	全	宇戸 孝平
全	山口 常喜	諫早村	西川 勝平
全	内田 重助		

以上合計六十五名

乙部第一回卒業生徒氏名 (大正三年三月)

住所	氏名	住所	氏名
小野村	本田利八	長田村	田口重一
長田村	北御門貞一	同	成林爲治
長田村	松竹清藏	諫早村	橋本治太郎
諫早村	土井重次郎	同	松村棟一
同	石原利一	同	川良久米一
同	川下喜太夫	同	德永平太郎
同	廣田治四郎	長田村	向井勝郎
同	石橋豐	小栗村	川内繁一
同	崎村鹿太郎	諫早村	酒井伍一

計二十三名

乙部第二回卒業生徒氏名 (大正四年三月)

住所	氏名	住所	氏名
同	山口浩	諫早村	野田多久一
同	山口直一	同	西川藤一
長田村	灰毛芳郎	同	同
諫早村	島田寅喜	諫早村	川下勘市
同	野田徳平	小野村	池田一雄
同	田中甚平	諫早村	久保甚藏
同	崎村正二	同	野中傳夫
同	山口増市	同	同

計九名

乙部第三回卒業生徒氏名 (大正五年三月)

住所	氏名	住所	氏名
諫早町	古賀又喜	諫早町	高橋榮一郎
同	山口佐太郎	同	森永源四郎
同	緒方岩糺	諫早村	内田重助
諫早村	川良徳太郎	北諫早村	荒木米一
同	西川勝平	諫早村	伊藤正雄
同	岩永峰次	同	應戸彌平
同	西村勇八	小野村	原八十一
北諫早村	高田重平		

計十五名

乙部第四回卒業生徒氏名 (大正六年三月)

住所	氏名	住所	氏名
諫早村	島田守作	小栗村	木下正男
諫早町	橋本藤松	諫早村	小林榮三
諫早村	徳永徳太郎	小栗村	橋本米一郎
全	橋本需	長田村	小島霜一
小栗村	山田忠三郎		

計九名

乙部第五回卒業生徒氏名 (大正七年三月)

住所	氏名	住所	氏名

二二、卒業後ノ狀況

區別	甲部		乙部	
	人数	割合	人数	割合
自家農業従事	50		32	
補習校甲部へ入學	1		35	
本校へ入學	3		1	
工業従事	3		2	
商業従事	9		2	
其他	4		1	
合計	69		71	

計十五名
以上合計七十一名

全	田原寅一	北諫早村	全	廣瀬乙四郎
全	川副寅次郎	北諫早村	全	増輪幸雄
全	宮田二郎	長田村	全	松永儀七
北諫早村	橋本作太郎	全	田端逸次	
全	宮田慶一	全	山口一男	
全	北島甚太夫	全	田口重四郎	
全	紫田本藏	全	石丸長一	
諫早村	久保正雄	北諫早村		

(一) 時 鐘 表 目 録

一三、教授細目
修身科(乙部一期生、二期生)同材料

週	教 材	教 授 要 項	時 數
第一週	職第一業課	(一)自己ニ對スル心得 カラズ三、農業ノ貴重スベキコト四、農業ニ熱心ニ其改良發達ヲ圖ルベキコト 作法、居常ノ心得	一時間
第二週	副第二業課	(一)必要其種類ニ、副業ニノミカヲ盡シテ主業ヲ怠ルベカラズ作法 姿勢	一時間
第三週	健第三康課	(一)農業ハ人ノ身心ヲ健全ニスルモノナルコトニ、農業者ノ衛生ノコト 作法、起坐	一時間
第四週	獨第四立課	(一)農業者ハ獨立心ヲ弱カラシムル傾アリニ、農業者ノ獨立心ノ必要 作法、敬禮	一時間
第五週	智第五識課	(一)農業者ハ農事上ノ學理ヲ知り實地ニ應用シテ改良ヲ圖リ且世事ニ經驗スル必要アリ 作法、歩行	一時間
第六週	誠第六實課	(一)人ノ最モ重ンズベキ徳ハ誠實ナルコトニ、農業者ニハ誠實ナルモノ甚多シ 作法、戸障子ノ開閉 (二)家族ニ對スル心得 一、孝道ヲ教フ 愛、敬 作法、言語、應對	一時間
第七週	父第七母課	(一)私慾ヲ去リテ同胞相親シムベキコト 作法、訪問、近接	一時間
第八週	同第八胞課	(一)私慾ヲ去リテ同胞相親シムベキコト 作法、訪問、近接	一時間

第九週	祖第九先課	(同) 一、祖先ノ祭祀ハ形式ヨリモ精神ニ重キヲ置クベキコト 二、農家ノ美德作法、祝賀、見舞、吊問、會葬、家例及祭祀	一時間
第十週	親第十族課	(同) 一、遠近疎略ノ待遇ナカルベキコト二、親族相親シク道ヲ教フ作法、招待	一時間
第十一週	財第十一產課	(三) 他人ニ對スル心得 一、他人ノ財産ヲ尊重スベキコト 作法、告送別及送迎	一時間
第十二週	名第十二譽課	(同) 一、己レノ名譽ヲ重ンズルト共ニ他人ノ名譽ヲ重ンズベキコト ト二、他人ノ惡事ヲ猥リニ吹聴スベカラス作法、進物	一時間
第十三週	禮第十三儀課	(同) 一、言行共ニ禮儀ヲ逸スベカラズ二、農業者無邪氣ノ缺點作法、授受進撤	一時間
第十四週	堪第十四忍課	(同) 一、他人ニ對シテ寛大ナルベキコト 作法、食事	一時間
第十五週	踐第十五約課	(同) 守約ノ嚴守 作法、集會	一時間
第十六週	共第十六同課	(四) 社會ニ對スル心得 農業社會ハ共同一致ニアラザレバ何事モ成功セズ	一時間
第十七週	衛第十七生課	(同) 一、個人衛生ニ、公衆衛生 作法、祝祭日ニ關スル心得	一時間
第十八週	公第十八益課	(同) 一、社會公衆ノ益ハ直ニ自己一家ノ益ナリ 二、牛馬ノ飼養	一時間
第十九週	慈第十九善課	(同) 一、不具者災難者ヲ救助スベキコト二、慈善ニ伴フ弊害 作法、船車ニ關スル心得	一時間

第二十週	愛第二十國課	(五) 國家ニ對スル心得 一、愛國心ノ涵養 二、農業者ハ愛國心深キコト	一時間
第二十一週	兵第二十一役課	(同) 一、兵役ノ義務ニ、農業者ト軍隊 作法、物品ノ貸借	一時間
第二十二週	納第二十二稅課	(同) 一、納稅ノ義務 二、納稅心得	一時間
第二十三週	教第二十三育課	(同) 一、國民教育ニ、義務教育ヨリ以上ノ教育ハ己レノ能力體力以上力ヲ考察スベキコト	一時間
第二十四週	選第二十四舉課	(同) 一、選舉權 二、選舉權ノ行使	一時間
週	國語科教科用書 實業學校國語讀本卷二 元元堂編纂	乙部第一期生第二期生合併教授	時數
第一週	心第一の一花課	本課の讀方並釋義 成語、熟字の摘書練習、書取	三時間
第二週	自第二の二音樂課	本章の讀方及講義 成語、日常使用文字の摘書 書取練習	三時間
第三週	上第三の三晚秋課	本課の講讀 上野公園の景色並に歴史 摘書及書取練習	三時間

週	教材	教授要項	時數
第十五週	疵持 <small>一</small> 、其つ <small>二</small> 、脛 <small>二</small> 、 第十八、十九課	讀方、講義 書取、摘書	三時間
第十六週	信 <small>二</small> 、十、用課	講讀 福澤先生に就きて 書取、摘書	三時間
第十七週	初 <small>廿</small> 、一、雪課	本文讀方解釋 雪景の風致に就きて話方練習 摘書、書取練習	三時間
第十八週	第 <small>廿</small> 、二、新課 クリスマスと新年	本課の讀方、講義 クリスマスの意義に就きて 書取、摘書練習	三時間
第十九週	第 <small>廿</small> 、三、日課 思ひ立つ日が吉日	本文の講讀 其課の意義及話方 書取、摘書練習	三時間
第二十週	第 <small>廿</small> 、四、課 額に汗して食へ	本章の講讀 獨立自尊に就きて 書取、摘書の練習	三時間
第二十一週	河 <small>村</small> 、五、賢課	本課の講讀 河村瑞賢の性格及其事業に就きて 摘書、書取練習	三時間
第二十二週	大 <small>坂</small> 、六、坂課	本文の讀方、解釋 大坂市の繁華に就きて 書取、摘書	三時間
第二十三週	石 <small>炭</small> 、七、語課	讀方及解釋 石炭物語の意味の話方 摘書、書取、練習	三時間

乙部綴方教授細目 第一期生第二期生(同材料)

週	教材	教授要項	時數
第四週	郷里の弟に遺はす	本書簡文の講讀及讀方 使片文字の用意に就きて 書取	三時間
第五週	眞の <small>五</small> 、勇 <small>者</small> 課	本文の講讀 眞の勇者の性格に就きて 普通使用文字の選擇及書取	三時間
第六週	第七課世は情入 第八課明治農界の偉人	二課の講讀、書取 旅は道連世は情の意義其他俚言の暗誦 船津傳次郎翁の性格に就て	三時間
第七週	烈公の農人形	本章の講讀 農人形の歴史に就きて 書取摘書練習	三時間
第八週	都會と田舎	講讀 都會と田舎との特質に就きて 書取摘書練習	三時間
第九週	秋の <small>十</small> 、山 <small>中</small> 課	讀方及解釋 秋景の趣味 書取練習	三時間
第十週	兎 <small>十</small> 、二、狩課	講讀 兎狩の準備に就きて 摘書、書取	三時間
第十一週	庚 <small>十</small> 、三、歌課	本歌の講讀 本歌の主意に就きて 摘書並に書取	三時間
第十二週	長 <small>十</small> 、五、御修業課	本課の讀方並に書取 有栖川宮威仁親王殿下の御修業に就きて 書取、摘書、練習	三時間
第十三週	第 <small>十</small> 、六、武士課 スバルタ	講讀 スバルタ武士と今日の青年との比較 普通使用文字の書取練習 本書簡文の讀方、解釋 書取、摘書	三時間
第十四週	戦地より歸りて	本書簡文の讀方、解釋 書取、摘書	三時間

第廿二週	第廿一週	第廿週	第十九週	第十八週	第十七週	第十六週	第十五週	第十四週	第十三週	第十二週
入營を送る	文 事件の成行を問ふ	案 内 状	状 盡力を受けたる禮	むる文 夜學校へ入學を勸むる文	文 田植に加勢を頼む	大風見舞の文	詠物催促の文	文 父母の安否を問ふ	婚姻を賀する文	會葬を謝する文
例 文	例 文	例 文	談話ノ上、自作セシム	例 文	自 作	自 作	例 文	宿 題	自 作	例 文
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間

第十一週	第十週	第九週	第八週	第七週	第六週	第五週	第四週	第三週	第二週	第一週
文 雜誌講讀を申入る	寒中見舞の文	爲替金を送る文	佛事に招く文	文 書物の返済を促す	同 返 事	稻種子を乞ふ文	土産を贈る文	安着を報する文	新年の賀状	入學を祝する文
例 文	自 作	例 文	自 作(談話ノ上)	例 文	例 文	宿題自作	自 作	例 文	自 作	例 文
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間

第十八週	第十七週	第十六週	第十五週	第十四週	第十三週	第十二週	第十一週	第十週	第九週	第八週
同	於...故 て...郷 を...慕 や...	同	榮...朋 ...友 華...	同	戀...秋 し...の か...日 り...は け...る	同	無...豊 ...葦 窮...原	同	懲...廉 ...潔 戒...	同
浄同 書	同	浄同 書	同	浄同 書	同	浄同 書	同	浄同 書	同	浄同 書
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間

第七週	第六週	第五週	第四週	第三週	第二週	第一週	週	第廿四週	第廿三週
御...唯 報...今 ま...到 で...着 草...々	同	同	三...秦 ...尺 高...築	同	同	種...病 ...菌 痘...	教 材		卒 業 を 祝 す
同	浄同 書	同	同	浄同 書	同	書方、意義ニ就キ説明ノ後習ハシム	教 授 要 項	(復習)	自 作
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	時 數	一時間	一時間

乙部書方教授細目

(第一期生第二期生)同材料

第十五週	第十四週	第十三週	第十二週	第十一週	第十週	第九週	第八週	第七週	第六週	第五週
除	除	除	除	乘	乘	乘	乘	乘	乘	乘
法	法	法	法	法	法	法	法	法	法	法
前ニ同シ	前ニ同シ	法一位ノ場合	除算九九位ノ取 法一位ノ場合	前ニ同シ	小數乘法	前ニ同シ	法三位以上ノ場合	前ニ同シ	前ニ同シ	法二位ノ場合
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間

第十九週	第二十週	第二十一週	第二十二週	第二十三週	週	第一週	第二週	第三週	第四週
御申越候	同	智と徳とは 磨くべし	同	京島津極	算術科教授細目	珠加減	加減	加減	乘
同上	淨同書	淨同書	淨同書	淨同書	乙部第一期生	算	法	法	法
同上	淨同書	同	同	同	授要項	珠加減 一、運珠法ニ付テ基本トナルベキ加減 速算 備考 筆算ハ時々之ヲ課ス以下之ニ準ス	前ニ同シ	一、法一位ノ場合 一、速算ハ毎時十分内外之ヲ課ス以下之ニ準ス	前ニ同シ
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	時數	二時間	二時間	二時間	二時間

第十一週	第十週	第九週	第八週	第七週	第六週	第五週	第四週	第三週	第二週	第一週
除	除	除	除	除	除	除	除	除	除	除珠
法	法	法	法	法	法	法	法	法	法	法算
前ニ同シ	法三位以上ノ場合	前ニ同シ	前ニ同シ	法二位ノ場合	前ニ同シ	前ニ同シ	前ニ同シ	前ニ同シ	前ニ同シ	法二位ノ場合 毎時十分内外速算ヲ課ス以下之ニ準ス
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間

週	第十六週	第十七週	第十八週	第十九週	第二十週	第二十一週	第二十二週	第二十三週
教材	除	除	除	除	除	除	除	除
教授要項	前ニ同シ	法二位ノ場合(撞除法還元法ヲ要セザルモノ)	前ニ同シ(撞除法還元法ヲ要スルモノ)	法二位ノ場合	前ニ同シ	前ニ同シ	前ニ同シ	前ニ同シ
時數	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間

算術科教授細目

乙部第二期生

第十二週	除法	前ニ同シ	二時間
第十三週	除法	法三位以上ノ場合	二時間
第十四週	小數乘法	演位算取	二時間
第十五週	小數除法	演位算取	二時間
第十六週	歩合算	歩合算ノ一般 損益ニ關スル問題	二時間
第十七週	歩合算	租稅ニ關スル問題	二時間
第十八週	歩合算	利息算	二時間
第十九週	歩合算	利息ニ關スル問題	二時間
第二十週	歩合算	利息ニ關スル問題	二時間
第二十一週	特殊ナル算法	賴母子講ノ算法	二時間
第二十二週	前ニ同シ	前ニ同シ	二時間

第廿三週	前ニ同シ	前ニ同シ	二時間
農業科教授細目 乙部第一期生、第二期生(同材料)			
週	教材	教授要項	時數
第一週	一、養蠶の品種 二、蠶の品種	蠶業ノ我國ニ好適スルコト 副業トシテ適當ナルコト 蠶ノ主ナル品種	三時間
第二週	三、蠶室及蠶具 四、春蠶飼育法	蠶室ノ構造及位置 蠶具ノ種類 催青、掃立	三時間
第三週	同	給桑、除沙、分箔 蠶兒ノ經過	三時間
第四週	同	眠起ノ取扱、温度、温氣、換氣	三時間
第五週	同	上簇、收購、殺蛹、貯繭、蠶病	三時間
第六週	五、桑	桑ノ品種 栽培法ノ一般 (復習)	三時間
第七週	六、果樹	果樹ノ大別及繁殖法	三時間

第十八週	廿六、間接肥料 廿七、土壤ノ酸性	種類、施肥法 酸性ノ作物ニ不利ナルコト、改良法	三時間
第十七週	廿四、輪作及連作 廿五、地力	輪作及連作ノ意義及連作シテ可ナルモノ及不可ナル作物 (復習) 地力ノ維持及方法	三時間
第十六週	同	肥料ノ貯藏 肥料ノ性質 肥料ノ配合	三時間
第十五週	廿三、肥料	肥料ノ三成分 重要ナル肥料及其成分 肥料ノ分類	三時間
第十四週	廿二、禾穀類 廿一、作物ノ種類	種類、効能、栽培法ノ注意 分類ノ一般	三時間
第十三週	十八、家畜ノ飼料 十九、大豆 二十、荳菽類	種類及之ヲ與フルニ付キテノ注意 栽培法ノ一般 種類、効能、栽培ノ注意	三時間
第十二週	十六、牛 十七、養豚	品種、飼養及管理 品種、飼養及管理	三時間
第十一週	十三、土壤ノ改良 十四、耕地ノ整理 十五、馬	土壤改良ノ手段及方法 利益及方法 品種飼養、管理	三時間
第十週	十一、排水 十二、土壤ノ由來	種類、方法 土壤ノ由來及種類	三時間
第九週	八、特用作物 九、油煙草	特用作物ノ意義、種類 栽培法ノ一般 栽培法ノ一般	三時間
第八週	七、作物ノ病害	果樹ノ植付 主ナル病害ノ一般	三時間

第十九週	廿八、肥料ノ反應 廿九、肥料ノ混合	酸性、中性、鹽基性 配合法ノ注意	三時間
第二十週	三十、肥料ノ使用法	主肥料ノ施用法	三時間
第二十一週	卅一、農業ノ要素 卅二、農業ノ經營	土地、資本、勞力 粗放農業及集約農業、大農、小農	三時間
第二十二週	卅三、農事ノ改良 卅四、農業ノ金融	改良ノ急務、方法等 銀行、組合ノ機關	三時間
第二十三週	卅五、農業ト國家	農ハ生産物中ノ大部ヲ占ムルコト、農ノ豊凶ハ經濟界ニ影響ヲ與フルコト、農ハ忠良ナル強兵ヲ出スコト 農ハ國家ノ大本ナルコト	三時間
第二十四週		(復習)	三時間
週	農用理科教授細目	乙部一期生二期生(同材料)	
第一週	あ	習性、利益	一時間
第二週	く ち ら	形態、習性	一時間
第三週	益 鳥	つばめ、もす、習性、農業との關係	一時間
週	教材	授要項	時數

第十四週	第十三週	第十二週	第十一週	第十週	第九週	第八週	第七週	第六週	第五週	第四週
あぶらむし	へび	うし	うし	ねこ	犬	ねづみ	ねづみ	害獣	害鳥	益鳥
形態、生殖、習性、驅除法	目、毒牙、口ノ構造、運動法、習性	習性、用途、主ナル種類	胃、角、蹄ノ構造	目、齒、舌、筋肉、習性	習性、体ノ構造	主ナル種類、驅除法一斑	習性、農家トノ關係	うさぎ、いたちの習性、農業トノ關係	習性	益鳥ノ種類、農業トノ關係、保護
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間

第十五週	第十六週	第十七週	第十八週	第十九週	第二十週	第二十一週	第二十二週	第二十三週
人体寄生虫	害虫	同	同	人身生理一斑	同	同	同	同
蛔虫、十二指腸虫ノ習性 農家トノ關係	主ナル害虫ニツキ	同	同	骨、筋肉	消化器	循環	呼吸、皮膚	神経系、五感器
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間

(二) 甲部教授細目

科目	講義	演習	実習	実験	観察	講義	演習	実習	実験	観察
植物学	植物の生活史	植物の分類	植物の解剖	植物の生理	植物の生態	植物の生活史	植物の分類	植物の解剖	植物の生理	植物の生態
動物学	動物の生活史	動物の分類	動物の解剖	動物の生理	動物の生態	動物の生活史	動物の分類	動物の解剖	動物の生理	動物の生態
地質学	地質の歴史	地質の分類	地質の解剖	地質の生理	地質の生態	地質の歴史	地質の分類	地質の解剖	地質の生理	地質の生態
天文学	天体の生活史	天体の分類	天体の解剖	天体の生理	天体の生態	天体の生活史	天体の分類	天体の解剖	天体の生理	天体の生態
物理学	物理学の歴史	物理学の分類	物理学の解剖	物理学の生理	物理学の生態	物理学の歴史	物理学の分類	物理学の解剖	物理学の生理	物理学の生態
化学	化学の歴史	化学の分類	化学の解剖	化学の生理	化学の生態	化学の歴史	化学の分類	化学の解剖	化学の生理	化学の生態
数学	数学の歴史	数学の分類	数学の解剖	数学の生理	数学の生態	数学の歴史	数学の分類	数学の解剖	数学の生理	数学の生態
国文学	国文学の歴史	国文学の分類	国文学の解剖	国文学の生理	国文学の生態	国文学の歴史	国文学の分類	国文学の解剖	国文学の生理	国文学の生態
外国文学	外国文学の歴史	外国文学の分類	外国文学の解剖	外国文学の生理	外国文学の生態	外国文学の歴史	外国文学の分類	外国文学の解剖	外国文学の生理	外国文学の生態
社会学	社会学の歴史	社会学の分類	社会学の解剖	社会学の生理	社会学の生態	社会学の歴史	社会学の分類	社会学の解剖	社会学の生理	社会学の生態
政治学	政治学の歴史	政治学の分類	政治学の解剖	政治学の生理	政治学の生態	政治学の歴史	政治学の分類	政治学の解剖	政治学の生理	政治学の生態
経済学	経済学の歴史	経済学の分類	経済学の解剖	経済学の生理	経済学の生態	経済学の歴史	経済学の分類	経済学の解剖	経済学の生理	経済学の生態
法学	法学の歴史	法学の分類	法学の解剖	法学の生理	法学の生態	法学の歴史	法学の分類	法学の解剖	法学の生理	法学の生態
医学	医学の歴史	医学の分類	医学の解剖	医学の生理	医学の生態	医学の歴史	医学の分類	医学の解剖	医学の生理	医学の生態
工学	工学の歴史	工学の分類	工学の解剖	工学の生理	工学の生態	工学の歴史	工学の分類	工学の解剖	工学の生理	工学の生態
農学	農学の歴史	農学の分類	農学の解剖	農学の生理	農学の生態	農学の歴史	農学の分類	農学の解剖	農学の生理	農学の生態
芸術学	芸術学の歴史	芸術学の分類	芸術学の解剖	芸術学の生理	芸術学の生態	芸術学の歴史	芸術学の分類	芸術学の解剖	芸術学の生理	芸術学の生態

二 甲部第一、二期生(同材料)

修身科教授細目

甲部第一、二期生(同材料)

週	教材	教授要項	時數
第一週	戊申、一詔書課	(第一)詔書 一、世界ノ人文進歩ニ伴ヒ國運ヲ發達セシメンガ爲メ臣民處世法ヲ給ヘルモノ一、素讀 作法、居常ノ心得	一時間
第二週	人文ノ二進歩課	一、國家ハ孤立シテ成立セザルコト一、相依リ相助クルコト一、陛下ノ各國トノ親善一、聖德ノ洪大 作法、姿勢	一時間
第三週	國運ノ三發展課	一、國運ノ發展ヲ要ス一、諸政ノ弘張戰後ノ經營一、上下一致誠實業務ニ服従ス一、奢侈ヲ抑ヘ儉約ニ導ク 作法、起坐	一時間
第四週	祖宗ノ遺訓ト國史課	一、國運發展ノ本ハ皇宗御遺訓遵奉ト國史ニ鑑ミ從フトニアリ作法、敬禮	一時間
第五週	結第五論課	一、同 一、詔書ノ陛下ガ我等臣民ノ忠實善長ヲ信シ賜ヒタルコト 一、洪大深遠ナル大御心ニ奉答スベキコト	一時間
第六週	言第六語課	(第二)自己 一、言語舉動一、寡言實行一、明晰正確優美ナル言語ノ踐習 一、慎重一、活潑ト粗暴一、舉動ト容儀 作法、戸障子ノ開閉	一時間
第七週	舉第七動課	一、同 二、修養 一、人ハ常ニ理想ヲ有セザルベカラズ一、(自彊息マサルベシ)ノ聖旨ト道德的理想 作法、言語、應對	一時間
第八週	道第八的理想課	一、同 一、自省ト道德的理想一、青年輩ハ自省心ニ乏シ一、自己ノ缺點ハ必ズ抑制スベキコト 作法、訪問、迎接	一時間
第九週	自省第九自制課	一、同	一時間

第十週	讀朋第 友十、 書會課	同 一、人ハ暗示ニ感スル性アリ一、朋友ノ選擇一、會ノ選擇一、書籍ノ選擇 作法、祝賀、見舞、吊問、會葬、家例及祭祀	一時間
第十一週	農第 十一 業課	三、職 業 一、職業ノ必要一、農業ノ貴重一、農事改良 作法、招待	一時間
第十二週	協同ト 獨立心 課	同 一、「上下心ヲ一ニシ」聖旨ヲ奉體スル農業者ニ最モ必要ナリ 協同ト依頼心一、獨立自營ト勤勞 作法、告送別及送迎	一時間
第十三週	共第 十三 同課	四、社 會ニ對 スルノ 心得 農業社會ハ共同一致ニアラザレバ何事モ成功セズ	一時間
第十四週	衛第 十四 生課	同 一、個人衛生一、公衆衛生 作法、祭祀日ニ關スル心得	一時間
第十五週	公第 十五 益課	同 一、社會公衆ノ益ハ直ニ自己一家ノ益ナリ 牛馬ノ飼養	一時間
第十六週	慈第 十六 善課	同 一、不具者災難者ヲ救助スベキコト一、慈善ニ伴フ弊害 作法、船車ニ關スル心得	一時間
第十七週	愛第 十七 國課	第三、國 家ニ對 スル心 得 一、愛國心ノ涵養 農業者ハ愛國心深キコト	一時間
第十八週	兵第 十八 役課	同 一、兵役ノ義務一、農業者ト軍隊 作法、物品貸借	一時間
第十九週	納第 十九 稅課	同 一、納稅ノ義務一、納稅心得 作法、集會	一時間
第二十週	教第 二十 育課	同 一、國民教育一、義務教育ヨリ以上ノ教育ハ己レノ能力、體力 以上力ヲ考察スベキコト	一時間

第廿一週	選第 廿一 舉課	同 一、選 舉權 一、選舉權ノ行使 第四、家 族	一時間
第廿二週	家第 廿二 族課	一、國 家社會 ノ道德 ハ源ヲ 家族間 ヨリ發 スルモ ナリ	一時間
第廿三週	祖第 廿三 先課	同 一、品 位ヲ正 シクシ 行爲人 ノ模範 トナル 人ハ祖 先ヲ思 フ人ナ リ 一、農業 者ノ美 德	一時間
第廿四週		(復習)	一時間
週	教科用書 新編普通日用文範 完	國語科教授細目 甲部第一期生、第二期生合併教授	
第一週	第 一 里 の 春 其 一 課	本課の讀方及解釋 成語及熟字の摘書並に書取 例文	三時間
第二週	第 二 里 の 春 其 二 課	本課の一般講讀 普通用語の練習、書取 自作	三時間
第三週	第 三 里 の 春 其 三 課	本章の講讀 中江藤樹の人物に就きて質問、書取 例文	三時間

第十一週	第十週	第九週	第八週	第七週	第六週	第五週	第四週	第三週	第二週	第一週
新年の賀状	同	種子註文の文	同	佛事に招く文	同	講話會に誘ふ文	同	土産を贈る文	同	安着を報する文
本文略	右淨書	本文略	右淨書	本文略	右淨書	本文略	右淨書	本文略	右淨書	拜啓御地出立後途中無事本日午前九時着郷致候間憚ながら御安心 下され度候委しくは後便にて申述べ候へども先は取敢へず右御 報知申上候、(書方、意義ニ就キ説明ノ後習ハシム)
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間

矣

第十二週	第十三週	第十四週	第十五週	第十六週	第十七週	第十八週	第十九週	第二十週	第二十一週	第二十二週
同	盡力を受けたる禮 状	同	時候見舞の文	同	右返事	同	入營を送る文	同	婚姻を賀する文	同
右淨書	本文略	右淨書	本文略	右淨書	本文略	右淨書	本文略	右淨書	本文略	右淨書
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	一時間

矣

第廿三週	卒業を報する文	本文略	一時間
第廿四週	同	右淨書	一時間
算術科教授細目 甲部第一期生			
週	教材	教授要項	時數
第一週	乘 法	法一位ノ場合 毎時十分内外加減速算ヲ課ス以下之ニ準ズ 筆算ハ時々之ヲ課ス	二時間
第二週	乘 法	法二位ノ場合	二時間
第三週	乘 法	法三位以上ノ場合	二時間
第四週	乘 法	前ニ同シ	二時間
第五週	乘 法	小數乘法	二時間
第六週	乘 法	前ニ同シ	二時間
第七週	除 法	除算 九九 法一位ノ場合	二時間

六

第八週	除 法	前ニ同シ	二時間
第九週	除 法	前ニ同シ	二時間
第十週	除 法	法二位ノ場合	二時間
第十一週	除 法	前ニ同シ	二時間
第十二週	除 法	前ニ同シ	二時間
第十三週	除 法	前ニ同シ	二時間
第十四週	除 法	前ニ同シ	二時間
第十五週	除 法	前ニ同シ	二時間
第十六週	除 法	前ニ同シ	二時間
第十七週	除 法	前ニ同シ	二時間
第十八週	除 法	小數除法	二時間

六

第十五週	第十四週	第十三週	第十二週	第十一週	第十週	第九週	第八週	第七週	第六週	第五週
比	比	比	比	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
例	例	例	例	合	合	合	合	合	合	合
混和法問題	按分比例問題	逆比例問題	正比例問題	手形ニ關スル問題	割引ニ關スル問題	前ニ同シ	利息算	保險ニ關スル問題	公債及株式ニ關スル問題	租税ニ關スル問題
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間

第十九週	第二十週	第二十一週	第二十二週	第二十三週	週	第一週	第二週	第三週	第四週
除	四除	四除	四除	四除	教	求	求	歩	歩
法	則	則	則	則	材	積	積	合	合
前ニ同シ	應用問題	應用問題	應用問題	應用問題	算術科教授細目	積	積	算	算
前ニ同シ	法三位以上ノ場合	前ニ同シ	前ニ同シ	前ニ同シ	甲部第二期生	前ニ同シ	前ニ同シ	歩	損益ニ關スル問題
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	授	前ニ同シ	前ニ同シ	合	歩
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	要	前ニ同シ	前ニ同シ	算	損益ニ關スル問題
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	項	前ニ同シ	前ニ同シ	算	損益ニ關スル問題
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	時	前ニ同シ	前ニ同シ	算	損益ニ關スル問題
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	數	前ニ同シ	前ニ同シ	算	損益ニ關スル問題

第十六週	特殊算法	頼母子講ノ算法	二時間
第十七週	同	前ニ同シ	二時間
第十八週	同	埋立掘取土量見積算 勾配延算法	二時間
第十九週	同	立山毛上見積 材積見積	二時間
第二十週	同	束廻算法 立木ノ高サヲ測定スル算法	二時間
第二十一週	同	稻作見積算法	二時間
第二十二週	開筆 平方算	開法	二時間
第二十三週	同	應用問題	二時間
第一週	一、土 壤	土壤ノ由來 岩石ノ風化	三時間
週	教 材	教 授 要 項	時 數
農業科(土壤、養蠶、森林)教授細目 甲部第一、二期生(同材料)			

第二週	二、土壤ノ組成	土壤ノ無機成分及有機成分	三時間
第三週	三、土壤ノ堆積 四、土壤ノ微生物	〔表土、心土〕 〔定積土、運積土〕 有機物ノ分解、硝化作用 遊離窒素攝取作用 〔土壤ノ吸水力〕 〔保水力等〕	三時間
第四週	五、土壤ノ性質	土壤ノ分類及各性質	三時間
第五週	六、土壤ノ種類	肥沃ナル土壤ノ具備スベキ要件 土壤ノ瘠薄ナル原因 (復習)	三時間
第六週	七、土壤ノ肥瘠		三時間
第七週	八、土壤ノ有害物 九、土壤ノ改良	〔酸性、亞酸化物、鑛毒捕獲等〕 排水法	三時間
第八週	右 同	排水法 灌溉法	三時間
第九週	右 同	灌溉法 耕耨法	三時間
第十週	右 同	客土、燒土、植樹、休閒	三時間
第十一週	右 同	耕地整理ノ大意 (復習)	三時間
第十二週	一、養蠶ノ品種 二、蠶ノ品種	蠶業ノ我國ニ好適スルコト 副業トシテ有利ナルコト 蠶ノ主ナル品種	三時間

第十三週	三、蠶室及蠶具 四、春蠶飼育法	蠶室ノ構造及位置、蠶具ノ種類 催青、掃立法、給桑、貯桑	三時間
第十四週	右 同	除沙、分箔、眠起ノ取扱 温度、湿度ノ調節及ビ換氣、上簇	三時間
第十五週	右 同	收繭、殺蛹、貯繭 蠶病ノ一般	三時間
第十六週	五、夏秋蠶飼育法 ノ一般	夏秋蠶種 掃立ト其ノ注意 飼育上ノ注意 上簇及收繭 殺蛹及貯繭 繭ノ販賣	三時間
第十七週	右 同	蠶種ノ選擇、保護、洗滌、運搬 (復習)	三時間
第十八週	六、蠶種	蠶種ノ選擇、保護、洗滌、運搬 (復習)	三時間
第十九週	一、森林ノ種類 二、林木ノ種類	經濟林ト保安林、原生林ト施業林、單純林ト混淆林 陰樹ト陽樹、林木ト土質	三時間
第二十週	造林法總論	天然造林法、萌芽更新法 人工造林法	三時間
第二十一週	右 同	植樹造林法 直播造林法 (苗ノ育成苗ノ掘採及移植)	三時間
第二十二週	右 同	挿木造林法 森林ノ手入	三時間
第二十三週	造林法各論	松、杉、檜ノ造林法	三時間

第廿四週	右 同	櫛、櫟ノ造林法 森林保護 (復習)	三時間
農業科(牧畜、園藝)教授細目 甲部第一、二期生(同材料)			
週	教 材	教 授 要 項	時 數
第一週	養牛 畜	意義 牛ノ用途及本邦畜牛業	二時間
第二週	牛	品 種	二時間
第三週	同	日本牛	二時間
第四週	同	英國牛 和蘭牛	二時間
第五週	同	瑞西牛 牛ノ蕃殖	二時間
第六週	同	育飼 管 理	二時間
第七週	馬	馬ノ品 種	二時間
第八週	同	馬ノ蕃殖飼養管理	二時間

第五週	第四週	第三週	第二週	第一週	週	第二十週	第廿一週	第廿二週	第廿三週
毛細管現象	槭子	濕氣	風	氣壓	農用理科教授細目	同	桃	枇杷	葡萄
原理、土壤	原理、應用	雨、雪、雹等	起因、二百十日、農家トノ關係	原理應用	甲部一期生、二期生(同材料)	病虫害	採栽培收法	採栽培收法	採栽培收法
一時間	一時間	一時間	一時間	一時間	時數	二時間	二時間	二時間	二時間

第十九週	第十八週	第十七週	第十六週	第十五週	第十四週	第十三週	第十二週	第十一週	第十週	第九週
梨	梨柑	柑	同	果樹ノ剪定	果樹ノ植付	果樹蕃殖	同	雞	同	豚
採收、貯藏、各種整枝ノ様式	病虫害	採栽培收法	側枝剪定、剝皮、斷根	剪定ノ必要、主枝ノ剪定	時期、距離、剪根	壓挿實條木生	雞ノ蕃殖飼養管理	雞ノ品種	豚ノ蕃殖飼養管理	豚ノ品種
二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間	二時間

第十七週	電 車	原理、構造	一時間
第十八週	ラ ヂ ウ ム		一時間
第十九週	視 器	構造、作用	一時間
第二十週	物 質 ノ 色		一時間
第二十一週	火 山		一時間
第二十二週	地 震		一時間
第二十三週	復 習		一時間

第六週	慣 性	原理、應用	一時間
第七週	引 力		一時間
第八週	比 重	原理、農業上ノ應用	一時間
第九週	寒 暖 計	原理、種類 換算法	一時間
第十週	熱	傳達、輻射、應用	一時間
第十一週	物 質 ノ 狀 態	凝固、融解、寒劑	一時間
第十二週	同	沸騰、蒸發、蒸溜	一時間
第十三週	飛 行 器 類	飛行船、輕氣球	一時間
第十四週	電 燈	原理、種類、注意	一時間
第十五週	電 話	原理、使用法	一時間
第十六週	電 信	原 理	一時間

長崎縣農業教員協議會

大正七年八月八日本校ニ於テ農業教員協議會ヲ開キタリ、其協議事項左ノ如シ
第一議題

1、實業補習教育振興及徹底上左記各項ニ關スル各位ノ意見如何（縣諮問案）

イ、滿二十才迄ノ男子ハ准義務的ニ就學セシムルコト

ロ、前項ノ就學義務者ニ關シ簡單ナル學齡簿及學籍簿ヲ編製スルコト

ハ、修業年限尋常小學卒業者ハ三ヶ年以上高等小學校卒業者ハ二ヶ年以上トスルコト

ニ、一ヶ年教授日數ヲ五十日以上教授時數ヲ百時間以上トスルコト

本問題ニ對スル意見ノ大要左ノ如シ

備考、補習學校ハ其性質上劃一的ノモノニアラザルヲ以テ單ニ各方面ニ涉ル意見ノ發表ニ止メタリ

（以下問題之ニ準ズ）

1、青年教育ハ國家ノ發展上ノ最大急務ナリ故ニ男子ハ滿二十才迄、女子ハ滿十八才迄准義務的ニ就學セシムルコト（多數ノ意見ト認ム）

2、准義務的ニ就學セシムルトセバ簡單ナル學齡簿及學籍簿ハ編製スル必要アリ

3、修業年限ハ尋常小學校卒業者ハ四ヶ年以上高等小學校卒業者ハ二ヶ年以上トシテ差支ナシ

- 4、諮問案中修業年限ハ尋常小學校卒業者三ヶ年以上高等小學校卒業者二ヶ年以上トアルハ(以上)ヲ削除シテ可ナラン
- 5、補習學校卒業後滿二十才迄ハ研究科的ニ准義務的ニ教育ヲ施スベキコト
- 6、晝間補習學校ニアリテハ現在教授日數ハ二十日乃至三十日位ナリ之ヲ五十日トスルハ難事ナリ故ニ三十日以上ト定ムルコト

第一一議題

- 一、農業補習學校ニ於ケル農業科ノ實習ハ如何ナル方法ニ依ルヲ適當トスルカ(縣諮問案)
 - 二、夜間農業補習學校ニ於ケル農業科實地指導ノ方法如何(農學校)
 - 三、農業科教授ヲ適切有効ナラシムル方案如何(西彼)
 - 四、農業補習學校生徒ノ農業趣味ヲ向上セシムル適長ナル方法如何(南高)
- 右問題ハ一括シテ協議ニ附ス
- 1、成ベク實習地ヲ設ケテ實習ヲ課スルコト
家庭ニ若干ノ實習地ヲ經營セシムルコト
 - 2、適當ナル專任教員ヲ置クカ又町村技術員ヲシテ巡廻指導ヲナサシム
 - 3、補習學校生徒ノ自覺ヲ促シ實習地ノ利用ヲ善長ナラシムルハ實習ノ效果ヲ大ナラシムル上ニ必要ナルコトトス

- 4、實業科教授ヲ適切有効ナラシムルニハ左ノ各項ノ徹底ヲ期スベシ
 - イ、補習校生徒ノ出席ヲ良好ナラシムルコト
 - ロ、實業科教員ハ學識ト實地ノ經驗トニ通ジタルモノヲ選ブベキコト
 - ハ、補習學校教科書教授細目ヲ編纂スルコト
 - ニ、實業科教授時間ヲ増加スルコト
 - ホ、生徒ノ實業ニ對スル趣味ヲ養成スルコト

第三議題

- 一、高等小學校ニ於テ農業科實習ニ必要ナル設備如何(縣諮問案)
 - 二、試作地ヲ設クル簡便法如何(北高)
- 右二問一括シテ協議ニ附ス

- 1、實習地ノ面積ハ生徒一人ニ對シ、水田畑各三坪乃至五坪ヲ適當トス
- 2、收納室、雨天實習室、農具製作室トシテ二十坪餘ノ室ヲ必要トス
- 3、下肥貯藏小屋、堆肥舍、木炭製造所ノ簡易ナル設備ヲ必要トス
- 4、鍬ハ三人ニ對シ一挺ヲ適當トシ其他ノ農具ハ適當ニ設備スルコト
- 5、試作地ハ經費ノ都合出來ザルトキハ小作トスルヲ便利トス
- 6、小作ノ箇所ナキトキハ生徒自宅ノ耕作地ノ一部ヲ實習地トシテ利用スルコト

附 說

試作地ハ生徒ノ實習ニ依リ得タル生産費ヨリ可成購入スル様計劃ヲ立ツベキコト

第四議題

- 一、出席獎勵ノ方法如何(西彼)
- 二、出席獎勵上適宜ナル制裁法如何(東彼)
- 三、生徒ノ出漁等ノ爲メ缺席生徒ノ取扱法如何(南松)

右三問一括シテ協議ニ附ス

- 1、通信表ヲ持タシメルコト

通信表ニ生徒ノ出席スベキ日ヲ記入シ置キ出席ノ時ハ其ニ教師調印シ缺席ノ場合ハ缺席印ヲ押ス斯クシテ出席良好ナル生徒ニ對シテハ表彰ヲナス

第五議題

- 一、本縣ニテ農業補習學校教員ヲ養成スルニ最モ適切ナル組織、入學資格、修業年限等如何(農學校)
- 1、農業教員養成ノタメニ農學校ニ養成所ヲ附設スルコト
入學資格ハ尋常科正教員准教員、中學校卒業生、農學校卒業生トス
- 2、師範學校ニ附設シテ農學校卒業生ヲ入學セシムルコト
- 3、師範學校卒業生ヲ農學校ニ附設シタル農業教員養成所ニ入學セシムルノ意見アリタリ

第六議題

- 一、實業科教科ト普通教科トノ時間配當ノ標準如何(東彼、北高)
- 二、二種以上ノ職業殆ド同一ノ趨勢ニアル市町村ノ實業補習學校ハ二種以上ノ實業教科ヲ併立セシムル必要ナキカ、若シアリトセバ其方法如何(對馬)
- 1、普通科三ニ對シ實業科四ノ意見多數ヲ占ム
- 2、二種以上ノ實業科併立セシメテ可ナリ
(附說) 農業、水産ヲ課スル場合ハ普通科ハ同時間ニ教授シ實業科ヲ別教授トス
時間配當ハ其土地ノ事情ニヨリ適宜斟酌スルコト

第七議題

- 一、本縣ニ適當スル實業補習學校(國語、算術、農業、水産)ノ教科書編纂ノ必要ナキヤ(南松)
 - 二、實業補習學校教授細目ノ詳細ナルモノ制定スル必要ナキヤ(南松)
- 右二問一括シテ協議ニ附ス
- 1、教科書、教授細目編纂ノ必要アリ、著々實行中ナリ

第八議題

- 一、實業補習學校ニ於テ修身科ヲ有効ナラシムル方法如何(農學校)
- 二、實業補習學校ニ於ケル体育増進上有効ナル良法如何(對馬)

右二問一括シテ協議ニ附ス

- 1、實業補習學校修身科教授ニハ教科書ヲ使用スル必要ナシ
 - 2、偶發的材料ニ依リ訓育ヲ施スベキコト
 - 3、勤勞主義ヲ生徒ニ徹底セシムルコト
 - 4、教員ノ品性ヲ向上セシムルコト
 - 5、郷土ニ於ケル成功者、不成功者ノ實歷談ニテ訓育ヲ施スベキコト
 - 6、教材ハ消極的ノ材料ヲ用ヒズ可成積極的ノ材料ヲ用ユベキコト
 - 7、實行力ノ養成ニ努ムベキコト
 - 8、讀物ニ注意セシムルコト
- 1、積極的
- イ、閑暇ヲ利用シ遠足ヲナサシムルコト
- ロ、擊劍柔道ヲ獎勵スルコト
- ハ、体操及教練ヲ時々行フコト
- 2、消極的
- イ、時々生徒ノ身体檢査ヲ行ヒ不良ノモノニハ治療ヲ行ハシム
- ロ、衛生講話ヲナシ衛生思想ノ養成ニ努ム

第九議題

ハ、生徒中ニテ身体常ニ良好ナルモノニ對シテハ表彰ヲナスコト

一、實業補習教育ヲシテ今一層有効ナラシムル方法如何(北松)

右問題餘リ大ニシテ意見ノ發表多カラザルモ左ノ各項ニ依ルベシト唱ヘタルモノアリ

- イ、補習學校生徒ノ父兄開發
- ロ、生徒ノ自覺
- ハ、教師ノ努力

諸君ノ注意
御座ルニ
宜シク
御座リ

7.11.29

291

53

終

